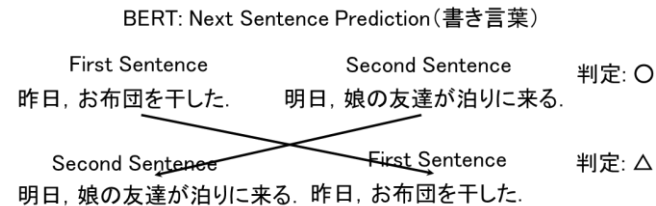


○太田博三（放送大）

1. はじめに

- ・BERTのタスク(隣接する文の探索)
→書き言葉が対象.
→本研究: 話し言葉への適用を検討.



6. まとめ

- ・論理的なテンプレートを用いると、隣接する文だけでなく、省略された背景や人間関係も捉えられ、その有効性が示された.



2. 本研究の目的・新規性

- ・話し言葉は, 文脈だけでない.
→背景や人間関係が省略されている.
→論理的テンプレートを提案

娘	「お母さん、私が明日泊まりにゆくのか知ってるの？」			
母	「ふとんを干してたわ」			
図4-1 親と子の会話断片				
[背景1] 美佐の母親が今日自宅のベランダにふとんを干していた。	[背景2] 美佐は美佐の母親が今日自宅のベランダにふとんを干していたと言った。	[背景3] ふとんを干すのは、宿泊する客が来る前の準備である。	[背景4] 美佐の母親は真理のためにふとんを干していた。	[背景5] 美佐の母親は真理が明日泊まりに来るのを知っている。

5. 反実仮想への拡張

- ・事実と反する事態での残念さを表す
→コロナが収束して欲しい.

「コロナになっていなければ、お正月に帰省できたのに…、しかし出来なかった。残念だ」	
IF would, I would... But I really want to. Next time, I wanna go back my home.	
図5-1 反実仮想への拡張 (書き言葉)	

「コロナで、お正月、帰省できなかった…」	
IF would, I would... But I really want to. Next time, I wanna go back my home.	
図5-2 反実仮想への拡張 (話し言葉)	

3. 書き言葉への適用例

- ・例) コロナ非常事態宣言文
→誘導推論(と対偶関係)

午後8時を過ぎたら、飲食店での食事は避けて下さい。

	q	~q
p	pならq「午後8時を過ぎていれば、飲食店で食事できない」	pなら~q「午後8時を過ぎていれば、飲食店で食事できる」
~p	~pならq「午後8時を過ぎていなければ、飲食店で食事できない」	~pなら~q「午後8時を過ぎていなければ、飲食店で食事できる」

IF(state)	THEN(action)	BECAUSE(Goal)
午後8時を過ぎているなら、	飲食店で食事はできない。	コロナに感染するといけないから。

図3-1 IF-THEN-BECAUSEでの捕捉

4. 話し言葉への適用例

- ・論理的な枠組み:
IF(state)-THEN(action)-BECAUSE(Goal)
→IF-THENは固定, BECAUSEは複数

A(妻)	コーヒー飲む？
B(夫)	明日、早いから…
図4-1 夫婦間の会話例	

IF(state)	THEN(action)	BECAUSE(Goal)
コーヒーを飲むと、	早く寝付けろ。	仕事に遅れたくないから。
図4-2 IF-THEN-BECAUSEでの捕捉		